

毎週月曜日発行 購読料3か月 12,000円(送料・税込み)
昭和62年11月14日第三種郵便物認可 ©物流産業新聞社 2018
物流ウィークリーでは ISO9001:2015 認証を取得しています

東京本社 東京都新宿区舟町7 (ロクサンビル4階)
中部本社 名古屋市熱田区横田2-1-32-603
大阪本社 大阪市東住吉区山坂4-15-14
全国13拠点をネットワーク

定期購読のお申し込み・お問い合わせは
0120-76-0501
24時間 0120-79-0508
FreeDial FAX 承りませ

イーソーコが全面バックアップ

学校の枠超え運送学ぶ

物流について学ぶ大学生による団体「インカレ物流研究」の主催で、初のイベント「物流インカレ」が11月30日、都内で開催された。同イベントは日本大学の鈴木邦成教授のもとで物流について学ぶ学生が中心となり企画。イーソーコ(東京都港区)の全面的なバックアップを得て、初の開催となっ

インカレ物流研究

た。イベントは代表の早坂司さん(日本大学大学院)によるあいさつでスタート。前半はイーソーコグループが開催するインターンシップイベントなど、学生向けの活動について説明。また、「世の中をワクワクさせるカッコイイ大人を増やす」をミッションにかける学生団体SHIRUBE(しるべ)を紹介。後半は、インカレ物流研究のメンバーによる物流に関する発表が行われた。神戸港やドローン物流、台湾の物流事情など各人が研究テーマに沿って発表。また、物流業界に就職を決めたメンバーによる物流業界に就職するための就職活動の進め方が解説された。今回は初のイベントとあって、日本大学の学友を中心として開催されたが、今後はSHIRUBEとも連携しながらインカレ団体として活動の幅を広げていく計画だ。早坂さん



は「2か月から3か月など、企業を巻き月に一度のペースで込みながら活動してイベントや物流セン「いきたい」としてターゲットの見学を企画する。

鈴木教授によると、近年の就職活動の現場で顕著なことに「学生同士のネットワーク化」がある。企業や業界団体が開催するインターンシップに参加し、セミナーやワークショップを通じて知り合った学生同士が学校の枠を超えて交流を持つようになった。同じ業界をめざす者として、SNSなどを通じて積極的に情報交換している。「こうした動きはこれまで見られなかった。ここ3年ほどの特徴的な動き」という。(田川侑史)